

東方Project 100% 全人物 全衣装 全武器 全魔法 全アイテム 全隠し要素 全隠しアイテム 全隠し武器 全隠し魔法 全隠しアイテム

幻想



ADULT ONLY
成年向



喉が…
喉が痛い…

湯きすぎて
やばいわね

ほんとに…
何なのかしらね

今までにこんな
のどが渴いたことなんて
あったかしら…



ああ…

お腹も減りすぎたのか
なんだか疼いてきたわ

まったく…
まったく…

咲夜がまた新しい食材でも
見つけてきたのかしら

まったく何なのよ…
屋敷中に獲う
この甘い匂いは

月もまだ昇りはじめた
ばかりだというのに

おかげでやたらと
のどが渇くじゃない…

あの馬鹿メイド…
お仕置きしてやろうかしら

全然寝足りないわ…

少くく味見しても
いいわね
昨夜が悪いんだから…

いえ…

気絶してる人間から
血を吸うなんて
はしたないことできないわね

でも
舐めるくらいなら…

何もしてないと
気が狂ってしまいそうだし…ね

すくいい匂いね…
近づいたら
疼きがひどくなったわ

身体が熱い…
頭がボーっとしてくる

汗でベトベト…
気持ち悪いわ

こんなところに
食料を放置しておくなんて

美味しいわ…
舐めるだけなのに
ソクソクきちゃう

目を覚ましたら
散々に食べさせて
じっくりと味わいましょう



きやっ!?

おっかしい!
それにすごい匂い
とても美味しそう...

ぐんぐん



とてもいい匂い

お腹がすいたってよりも
なんだか違う...
この匂いを嗅いでいると
お腹の奥が疼いてくるわ

このへんかしら...
何かピクンピクンしてるわ

布の間から
匂いがもれてる感じ?
開けてみようかしら...

ぐんぐん



あら
起きたのかしら?

おい人間 白いのっ
白いのをもっと
出さない

白いのって... 精液?
こんな可愛い子が
俺の精液を?

私が命令してるというのに

なんで?
どうして!?

おまの
おまの
おまの



もっ
もっ
もっと味わいたいわ

吸えば...
出てこないかしら

ちゅちゅ

なんなんだ?
幼女?
幼女が... おっ俺のツ?

ちゅちゅ



この液体が
匂いの元なのかしら

舐めてみよう...

!?

なっ なにこれ!
美味しい!



とうい人間ね...
殺してから
いただくようかしら...

あし、まだ夢の中か

聞いてるの?
早く出さないよ

それは... いただいちゃって
いいってことですか!?

夢サイコー!!
今日の俺グツジョブ!!

いただきますっ!!

出してくれるなら
何でもいいわ
早くしなさい

なっ 何をっ!?



お〇んちんをこくと
さっき飲しがってた
お汁がたくさん出るんだけど！
裸にされたのに
身体が熱い…
すこ…欲しい

いっばい
いっばい
いっばい
いっばい飲めるの…？
あ的美味しいのが
いっばい…
いっばい
いっばい…
いっばい！
いっばい



特に…
ぐりぐりされていると
すこ…身体が熱く…
飲しくてたまらない
アレが飲めるなら…

ん…
さっきみたいに口とか…
手じやだめなの？
ぐちゅぐちゅに
なってるココじゃないと
ダメなんだよね
いっばい…飲めるなら

でも
いっ 入れるって…
こんなの…入るの？

君もこんなによだれを
たらしちゃって
準備万端じゃないか！

いいかもしれない
ちよっとくらい
我慢してあげても…
飲めるなら…
飲めるなら…



こんな奥深くまで
入っちゃったよ！

ささけっ 繋げるっ
おなか…いっばいすぎて
苦しい…

お〇んちんと
指でお腹挟まれているの
わかるでしょ？

入った…入ったけど
何なのよ、これ

おひやがあついゆくりや
やめなひやいおあ

呂律がまわらない…
痛いつてよりも
なんだか…不思議な



…仕方ないわね
さっさとだしなさいよね
さっさとすませて
解体して食べてしまおう

よっしゃ
入れちゃうよ



まだ…なの？

だまされた…の？
人間ごときに
この私が…

いっ
入れれば出るって
いってたじゃない

動いてお○んちんを
しこかないとでないんだ

くるしいのっ
なんでもいいから
早くして…っ

はーい
じゃあ動くね

いきなり速くだなんて
激しいのが好きなんだね♪

まったくグズな人間ね…
早く済ませて…

!?

なっ身体の奥にっ…
かっ
かたいたがぶつかってくりゆうっ…

どまって！
らめえ…っ
頭の中
火花散っちゃってるっ

肉棒と擦れる肉が
快感の悲鳴を上げてくる

私の中を目一杯こじ開けてるモノが
ビクビク暴れながら私をかき混ぜてくる

無理
止まらないよっ
とりあえず
一発目出しちゃうぞっ！

やばいわ…コレ
頭が何も
考えられなくなってる…

あああああああ

ああああ

!!!

何かがっ
奥にぶつかってる
染み込んでくるっ…っ!?



これさっきの
美味しい汁？

せっかく我慢してたのに
もったいない……っ

飲みたかったのに
身体の中に直接
流し込まれてるのっ？

もう一回出させないと
いけないわね

くっ とまんねっ

なっ何これ
いつまで出てるのよ!?

もう
はっ 入らない……っ



爆ぜちゃう！

もう入らないわっ

ああああああああああ



なんだか
口から飲むよりも
美味しく感じてる

お腹パンパンで
痛いくらいなのに
身体が喜んでる……わ
なんなの……これ

ちょっと怖いわ……

出したばかりなのに
まだギンギンだ(笑)

もう一発いこうか！

!?



抜かずにガンガン
いっちゃうぞー

って、やばい
また出そう
早すぎるけど
よすぎて我慢出来ない……

なっ中
もう……はいらな
わ……っ



勝手なこと言って……

やっぱ中に出したほうが
気持ちいいわー



中がダメなら外だー！

まだち○こ立ちっばだ
さすが夢の中だ
出しまくるぞー！！



こいつ馬鹿じゃないの
さっきから入りきれなくて
あふれてるのに

もう……ダメ
はいらな……わ……

また出すよっ
……くっ
でも、君の身体は
中に出す度にキョキョンして
気持ちいいって言ってるよ

もう
中に出すのやめ
……なさい

頭がおかしく
なりそうだしわ

ひっ
まだ出るの……っ？

!?



何かしゃべるのが
億劫になってきたわ……

何を言っても
聞いてくれないし

だから……っ
もう入らないって

液体が肉の合間を
無理やり擦って
この感

気持ちよすぎるのよ

頭の中が
すっど真っ白になって
身体ごとが震えて

何も考えられなく
なってしまうわ



まあいいわ……
気持ちいいし

今日のところは
このまま
流されてあげるわ

うん、すこく
美味しいわ

……さすがに
この量はどっかと思っただけ

やだ……お下品だったかしら



味見して…

いえ…



…吸血鬼の城で
その主の前なのに

なんて聞げな顔で
幸せそうに寝ているのかしら…

ヌヌヌヌ…



氣を失ってる間も
散々弄んでくれたようね…

そろそろ
血をいただこうかしら…



フッ

フッ



久々の人の体温

鼓動の音

たまにはこんなのも…
悪くないわね

なんだか気分よく寝られそう

明日は何をして楽しもうかしら



食べるのはよしておきましょう
もっと美味しそうな時に

散々におびえさせて
恐怖の絶頂に…

やだわ
お腹一杯なのに
ちよっとお腹すいてきたかも…

ここは…私の部屋？
昨夜が運んでくれたのかしら

昨日みた
激しくはないけれど
やっぱり身体をいじられてる

でも
昨日の激しいのも
捨て難いから

おっ反応が変わった…？
起きたんだね

なんだか
物足りないような
願してるね！
そっ そんなこと
ないわよ

あのメイドが屋敷に転がってるものに
気がつかないわけがないものね

じっくりされるのも
気持ちいいわね



またされてしまうの？

やっ
やめなさいっ

いれるよっ

お腹パンパンに…
壊れちゃうわよっ!?



またイっちゃう!?!
やっぱり話聞かないのね

おー
すごい勢いだ

今度はまた一緒に
気持ちよくなるうか



ここからもっと
激しくして欲しいって
ビクビクしてるよ?

そんなことないわ

……
やっぱり食べておいたほうが
よかったのかしら



ご期待にお答えして…

ひゃっ!?

だめっ
グリグリだめえ…っ



ちょっと外出るわよ

帰ってきたら...
また好きなだけしてもいいから

あなた幻想郷の
人間じゃないわね

げっ
ゲンソウキョウ？

ここは幻想郷
忘れられたものが流れ着く
妖怪と人間が暮らす秘境の地よ

うわああー

もっとしっかり
つかんでくれー！

やっぱり夢だ！
そうだ
だからたぶん
落ちても大丈夫なんだ！
HAHAHA

あなたは次元の隙間に
落っこちてこちらの
世界に迷い込んだのね

ひっ!!

ずっと
うちに置いてあげるわ

あと、わっ

私の名前は
「ラム」だよ



ばっ馬鹿！
飛んでいる最中に
あばれるなっ！

食料でも構わないさ
食べられるその日まで
目一杯気持ちよくして
あげるからねっ

なっ!? むっ胸をぐりぐりするなっ!

へっ 変なとこ触るなっ!
落とすぞ!?

大丈夫♪
もうレミへの
恋に落ちてるから

!?



落ちろっ
この食料!

やめてっ
この高さは
死んじゃうよ

死ぬっ 馬鹿者っ

マジで……うわああああああああああ



ギョッ

いい加減に目を覚ましてなさい!

痛てててて!!?

ゆっ夢じゃ……ない!?

幼女にあんなことや
こんなことをして……
捕まるじゃないかっ

……
普通は元の世界に
帰れるかどうかを心配する
もんじゃないの?

安心なさい
ここでは力の強いものが正義
人里ならいざ知らず
紅魔館にいる限りは
問題ないわ



じゃあ俺のことは

あんたなんて非常食で十分だわ

うおっしっ

いつかミンチにして
食べてやるんだからねっ



私も…嫌いじゃないし
むしろ好きかも…しれないわ

お尻の穴もいじると
すごい締め付けてくるし

感じないところが
無いみたいだ

馬鹿ッ
そんなとこいじらないでよっ

えーでも
すごい感じるよね

だからこうゆうことをするのも
やぶさかではないけれど

確かに

確かに
好きだけさせてあげる
って言ったわ

レミィ



レミィって羽の付け根
が敏感だよ

お〇んこいじってるとき
よりも身体がビクビクしてるよ

そっ
そんなことない…わっ

んっ

びびび



普通に敏感なところも
もっと感覚がいい気がするよ

私ばかり弱点を
みつけられて
不公平な気がするわ

そこはっ
だめっ
らめええええ

レミィ
すごいよっ

すごい飛んじやってるっ

ぐりぐりしないでえっ
気持ちよすぎちゃうのぉ…っ

一度反応するとしつこく
いじられて

身体が言うことを
聞かなくなって

お願いっ
止めて…っ
うー



身体に力が入らないところで
また全身を探られる

レミィの
唾液美味しいよー

休む間もなく

ふざけたこと…
言わないで

悪循環すぎる…わね



なすすべもなく
イカされて

耳なんてなめないでよ
ちゅばちゅば耳元で
なってる

頭の中犯されてるみたいだわっ
やめて欲しかったら
あーんして
べろちゅーしよっか

よし まだびんびんだぜツ
ガンガンいっちゃうよー

だあああーツ!

あなたほんとに
人間なの??

ここ数日の間
ベッドの上から降りた
記憶がないわよ??

記憶が飛ぶほど
気持ちよかったんだー

死になさいっ!

レミイは足も敏感だよー



私でもこう毎日激しくされてたら
身体が持たないわよっ

とうぶんお預けよ!
いいわね?
私が許すまでダメよ??!

じゃあ最後に一回だけ…っ

死んでしまいなさいっ!



あれから数日

ゆったりとした
安らぎの時間

んー
いい香りだわ

ほんと久しぶりに
満喫できて…

と、思ってたのに…

なに硬くしてるのよ
もう我慢できないの??

いや
ここまでは…

レミイさん…
おこってるンデスカ?

ヤバイです
そんなにぶるぶる
しないでクゲサイ

あいつはなんだかんだで
我慢できてるのに…

私のほうが我慢でき
ない…なんて



うー…
私ばかりやきもち
してるだなんて
不公平だわ…

どうしてもって
懇願してきたら
させてあげてもいいかなー
って思ってたのに…



良い様ね

こんな妖気も感じさせないような
低級妖魔に良いようにされているなんて

これに懲りたら
変な食材を集めて
私に食べさせるのを
止めなさい

答えられないほど
漏れているのかしら



なにかしら…
咲夜の声みただけで
…変な声ね



こんな低級妖魔に
身体をゆだねるだなんて
よっぽど…

ストレスでもためていたのかしら

これを殺すのは
おやめくだ…さい…っ
ひっ

私も人のこと言えないわね…
食料としちゃってるし



おっ
おやめくだ…さい
お嬢様

もう少し出せば
元の姿に戻ると思い
ます…ので…っ

もう少し…?
趣味なのかしら



ちよど良いわね
こいつを八つ裂きにして
気を晴らそうかしら

御しきれないなら
私が手伝ってあげようか?

あのメイドもたまには
役に立つじゃない



元の姿？



さっき咲夜が言ってた
元の姿ってなんのことかしら

それにしても
いつまで続くのかしら？
あの食料みただわ
なんだか
いらいらしてくるわね
私が我慢してるっていうのに



ああ……
そうゆうことか

そうゆう……
……このね



お食べになれるなら
早いほうがよろしいかと……

食料なのでしょうか？

そうだな……



お嬢様の力に当てられて
いるようです

こいつは……
どうなるのかしら？

ある程度の量を吐き出せば
元に戻るようですが……

お嬢様のそばにいる限り
完全に妖魔と化すには
そう時間はかからないでしょう



お嬢様 誤解の無いように
申し上げます

無意識のうちに
暴れているようです
私とのことは記憶に
ないと思われませう

暴走直前に聞きましたところ
お嬢様以外には興味が無い
と、断られてしまいました

ふうん……そう

そろそろお別れね…
最後にもう一度
楽しませてほしいよ

我慢できたご褒美よ
目一杯好きにしていいわよ



あなたも…
お腹にビクンビクンって
してるのが当たってるわよ

レミイの
すっごくぐちぐちだよ



今日は私が上で
気持ち良くしてあげるわ
ご褒美なもの
じっとしていなさい

最初くらい
いいじゃない
ずっと時間はあるんだから

レミイ
上手だよ

ほんと?
気持ちいいの?

すぐに出ちやいそうだ



ちよっ
なにしてるのっ!?

気持ち良くしてくれる
レミイへのお礼だよ

動きづらい…から
やめてちょうだ…い…っ

おっレミイのお〇んこ
びくびくした

私が…気持ち良く
してあげたいのっ

動かずに密着して
ビクビクしてるお〇んこ
感じてるだけでも
気持ちいいよ

えいっ!





レミイ
前のほうずっと
癒せしっばなしだよ

お尻の穴大好きなんだねッ

お尻の穴もお〇んちん
離したくないって!

そっそんなっ
はしたな……っ



素直じゃない娘は
もっとお尻持ち良
しちゃうからねっ

ひゃうっ

好きッ
お尻持ちいいッ
だから……
牙疵めちやダメ……っ



止まらないよッ
レミイの中気持ち良すぎて

俺イっちゃってるのに
腰が動いちゃうよッ

びるびるしながら
うごくのしりこいッ

私と混ぜて
中のどろどろが
揺きだされちゃう



もっもっもないわ……っ
かまだしちゃうだめえ!

いきながらっ
揺きだしちゃうてる

安心してっまたすぐに
注ぐからっ!

また出すよッ



ほんと…
全然収まらないのね

レミイはもう…？

好きなだけ良いって
言ったでしょ

もっと気持ち良くなりましよ
二人で もっと
ずっと…





忘れない

絶対に忘れてなんてあげない
あの人間の男のことを

私が愛した…

あの…

あの…

ああーっ!!

あれ…
あっ!!

名前…
聞きそびれたああー!!

ピョーン

おわり

あとがき

はじめまして、ちんちくりんと申します。
この度は「幻想少女」お買い上げありがとうございます。
東方ジャンルでは友人と一般向メインで活動してるんですが、エロいのも作ってみたいなー
と思ってやっちゃいました。
所々強引な部分があると思いますが、ストーリーよりもエロ優先にしちゃいました。
エロカットを一つでも多くしようとしてストーリー部分を削る日々…
最終的にはまったく別の話になってました。はい。
それでは、また次の機会に。

奥付

誌名：幻想少女 ゲンソウショウジョ

著者：ちんちくりん 発行：珍竹林 <ccc@chinchickrin.sakura.ne.jp> 発行日：2010.4.14

印刷：有限会社ねこのしっぽ

※この本は成年向けです。18歳未満の方の閲覧及び購入を禁止します。

※この本は「上海アリス幻楽団」の「東方Project」の二次創作物です。上海アリス幻楽団及びZUN氏との直接の関係はありません。

